

# 令和3年 第6回文教厚生常任委員会会議録

令和3年 7月29日 議員控室

## ○事 件

所管課報告事項

- (1) 令和3年度八雲町成人式について（社会教育課）
- (2) 外国語指導助手（ALT）の任用について（学校教育課）

## ○出席委員（7名）

委員長 赤 井 睦 美 君  
          関 口 正 博 君  
          斎 藤 實 君  
          黒 島 竹 満 君

副委員長 安 藤 辰 行 君  
          佐 藤 智 子 君  
          千 葉 隆 君

## ○欠席委員（0名）

## ○出席委員外議員（3名）

議長 能登谷 正 人 君  
      宮 本 雅 晴 君

大久保 建 一 君

## ○出席説明員（4名）

教育長 土 井 寿 彦 君  
学校教育課長 石 坂 浩 太 郎 君

社会教育課長 佐 藤 真 理 子 君  
学校教育課参事 齊 藤 精 克 君

## ○出席事務局職員

事務局長 三 澤 聡 君

庶務係長 松 田 力 君

◎ 開会・委員長挨拶

○委員長（赤井睦美君） それでは、お疲れ様です。ただ今より常任委員会を開催させていただきます。

◎ 所管課報告事項

【社会教育課職員入室】

○委員長（赤井睦美君） 今日は社会教育のほうから成人式についてと、ALTの紹介ということで、よろしくお願いいたします。

○社会教育課長（佐藤真理子君） 委員長、社会教育課長。

○委員長（赤井睦美君） 社会教育課長。

○社会教育課長（佐藤真理子君） 社会教育課が所管する、令和3年度八雲町成人式について報告いたします。令和3年度は、2学年の成人式を予定しておりますので、それぞれの日程について資料に沿って説明いたします。

まず、(1) 令和3年、令和2年の成人式ですが、これは今年5月から再延期した成人式で、令和4年1月9日日曜日14時からシルバープラザを会場に開催いたします。対象者は、平成12年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方です。現在の対象者数は、八雲町に住民票のある方及び、現在八雲町に住民票がなくても成人式に出席を希望する方で、158名となっております。

次に(2) 令和4年、令和3年の成人式ですが、これは本年度中に二十歳になる学年の方の成人式で、令和4年1月3日月曜日14時から同じくシルバープラザを会場に開催いたします。対象者は、平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた方で、同じく八雲町に住民票がある方、現在八雲町に住民票はないんですけども、八雲町成人式に出席を希望する方としております。これから町外在住につきましては、希望者からの連絡もあるかと考えております。これらの日程につきましては、今年5月の成人式を再延期したのち、どういった日程が良いのかを検討してきたところですが、この間対象となる成人者から2学年合同ではない成人式を開催してほしいという声や、成人式に関係する町内理容事業者からも2学年の同日開催に対応できないというご意見が寄せられており、より多くの新成人に参加してほしいと考え、それぞれの学年ごとに別の日に開催することいたしました。

続いて(3) 対象者への周知方法ですが、広報8月号及び町ホームページに掲載するとともに、令和3年成人式対象者には、開催日程について8月中に文書を送付することとし、令和4年成人式対象者には、12月に案内文書を送付する予定でおります。

(4) ですが、その他といたしまして、成人式の開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じて実施いたしますが、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、1月の開催を中止する場合があります。延期となった成人式の対象者の皆さま、また新たに成人式を迎えられる皆様やご家族・関係者の皆様には、今後、状況によってはまた中止や変更等を生じることも考えられますがご理解いただきたいと思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（赤井睦美君） このことについて、質問、ご意見ありませんか。

- 委員（佐藤智子君） はい。
- 委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。
- 委員（佐藤智子君） これはなにか、イベントというか公演とかショーとかそういうのも考えているんですか。両方とも。
- 社会教育課長（佐藤真理子君） 委員長、社会教育課長。
- 委員長（赤井睦美君） 社会教育課長。
- 社会教育課長（佐藤真理子君） 成人式を開催するにあたりましては、式典と公演ということを考えております。ただ、今回5月にやろうということで計画していた際にも時間短縮というような部分も含めて時間的な精査をちょっと、内容的なものは若干従来とは違ったものと考えておりますが、公演等も予定しております。
- 委員（佐藤智子君） はい。
- 委員長（赤井睦美君） 佐藤委員。
- 委員（佐藤智子君） 公演の講師というのは、9日の日と3日の日が同じ人とか別々とか考えているんですか。
- 社会教育課長（佐藤真理子君） 委員長、社会教育課長。
- 委員長（赤井睦美君） 社会教育課長。
- 社会教育課長（佐藤真理子君） 今、日程を決めさせていただいたということでございますので、これからというふうになりますが、お一人の方に2回になるか、もしくは別々な方がいらっしゃれば、またそれぞれの学年で違う方にするかだとか、どういった方に来ていただけるかなどを検討しているところでございます。
- 委員長（赤井睦美君） ほかにありませんか。
- 委員（千葉 隆君） はい。
- 委員長（赤井睦美君） 千葉委員。
- 委員（千葉 隆君） 日程的に先に成人になった人があとの日程になってるんですけども、何故なんですか。
- 社会教育課長（佐藤真理子君） 委員長、社会教育課長。
- 委員長（赤井睦美君） 社会教育課長。
- 社会教育課長（佐藤真理子君） この日程を検討している際に、2学年ということもございましたので、どちらを先にとということもあったんですけども、先ほど申し上げました、検討している中で新成人者の声ですとか、町内の理容関係者の声をお聞きする中で、今年二十歳になる学年の方が今まで1月3日に開催をしてきたという経緯から既にその日程で準備されているという声もあわせて寄せられていたところでございます。それでこの部分もお聞きしておりましたので、確かに順序としては逆というご指摘もあろうかと思うんですけども、二十歳になる学年の1月3日というものをそのまま準備されているというものを変えていただくというのはそこはそのままにさせていただいて、そのあとの日程ということで、成人の日を挟む3連休のこの日に前の学年の成人式を開催させていただこうということで、順番は逆ですけどもこの日程とさせていただきたいと思っております。
- 委員長（赤井睦美君） ほかにありませんか。

なければ、9日に行う1年間延期した人たちなんですけれども、教育委員会が考えることではないと思いますけれども、今までの成人式は町民センターで本当にそこだけ成人式という感じだったんですけれども、今回1年も延びちゃったからどこか町内に成人おめでとうという雰囲気を出せたらいいなと。別に教育委員会がやるというわけではなくて、民間でできるようにどこかに働きかけて一緒にやれたらいいなと私は思っています。せつかく1年待ってやっとおめでとうなので、ちょっと違った感じにしてあげたいという思いがあるんですけれども、是非一緒に検討してください。よろしくお願いいたします。

ほかになければ、次に行きます。よろしくお願いいたします。

#### 【社会教育課職員退室】

#### 【学校教育課職員入室】

○委員長（赤井睦美君） それでは、外国語指導助手の任用についてのご報告を、よろしくお願いいたします。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） 委員長、学校教育課長。

○委員長（赤井睦美君） 学校教育課長。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） それでは、外国語指導助手A L Tの任用についてご説明いたします。お手元の資料をご覧ください。

当町における外国語指導助手A L Tは、総務省、外務省、文科省、自治体国際化協会が連携し実施している外国語青年招致事業J E Tプログラムにより2名を任用し、各小中学校において、英語を指導するほか、英会話講座などの社会教育分野において語学指導等を行っております。

昨年7月に前任のダンカン・ウッドさんが解任しており、その後任については、昨年9月に着任予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により来日が延び延びになっておりました。この度来日が可能となり、6月28日付けで、アメリカアリゾナ州出身のブライス・ジョンソンさんを任用いたしました。それでは自己紹介をいたします。

○外国語指導助手（ブライス・ジョンソンさん） 皆さんはじめまして。

私は、24歳でブライス・ジョンソンと申します。私はアメリカのアリゾナ州から新しい英語の先生のアシスタントとして日本へ来ました。これからよろしくお願います。

○委員長（赤井睦美君） すごい日本語がお上手ですね。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） 委員長、学校教育課長。

○委員長（赤井睦美君） 学校教育課長。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） ブライス・ジョンソンさんについては、今自己紹介がありましたが、24歳でアリゾナ州のピオリアという人口11万人ほどの市の出身であります。アリゾナ州立大学を卒業しており、日本での留学経験はございませんが、大学在学中にアジア言語、日本語の学士号を取得しております。また、日本語のスピーチコンテストに出場したことがあり、高校時代の友人が日本に詳しくあったことや、アメリカで放送されている日本のテレビ番組が面白かったことなどをきっかけに、日本に興味を持ったということがございます。今期の任用期間としては来年4月11日までとなっておりますが、本人の希望によって更新ができることとなっております、原則として3年間最大で5年間の任用が可能となっております。

以上、ALTの任用についての説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員長（赤井睦美君） ありがとうございます。質問、ご意見ございますか。

○委員（千葉 隆君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 千葉委員。

○委員（千葉 隆君） 遠くからお越しいただいて、実際にどこに住むんですか。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） 委員長、学校教育課長。

○委員長（赤井睦美君） 学校教育課長。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） 住居については、出雲町の教員住宅、今、ケリア・ムラタというALTがいるんですけども、そこと同じ4戸長屋の教員住宅に居住しております。

○委員（千葉 隆君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 千葉委員。

○委員（千葉 隆君） アリゾナっていうから、そんなに雪があるのかわからないですけども、あそこの平屋の町民センター向かいの町営住宅、ブランコとかも取り壊している状態で、劣悪な住宅というイメージが付きまとうところなんですけれども、特に冬、屋根の雪が落ちて、そして真ん中に住ませると、雪が落ちて膝の高さまできてすごい状態で、逆に言えばちょっと住んでいる人もなんですけれども、前の職員も大変苦勞しているような状況も見受けられるかなという感じがするんですね。なかなか住宅がないからあそこなのか、もう少し環境を整えたところに住んでもらってほしいっていうのが近所の人たちも言ってるから、その辺せつかく遠くから来てもらって、指導してもらおうということも含めて、できるだけいいところというわけではないけれども、今よりはいいんじゃないのかなというところを探せばないのかなとか、ちょっとその辺どうなんでしょうか。現状、その辺わかっていますよね。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） 委員長、学校教育課長。

○委員長（赤井睦美君） 学校教育課長。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） 千葉委員が申し上げるとおり、今の住宅は確かに新しいものではないということで、冬の期間については、屋根からの雪が玄関側に落ちることもあってですね、学校教育課の職員も除雪を定期的に行っているという状況がございます。また、ブライスはアリゾナ出身ということで、砂漠もあつたり、夏は40度超すような暑いところから来ているので、雪かきの経験等はないのかなと思っていますが、この冬については、学校教育課も全面的に協力しながら雪かきをしたいと考えております。また、状態のいい教員住宅についても空き状況を見ながら今後ALTに提供する住宅についても考えていきたいなと思います。

○委員（千葉 隆君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 千葉委員。

○委員（千葉 隆君） 空き住宅がどの程度あるのかはわからないけども、なかなか教員の人も八雲に赴任してるけれども、町外から函館とかから通っている人もいるので、もう少し良いところがあるのかという部分もあるので、ただそれが不可能だということもあるんですけども、いっそ逆に一般の住宅、アパート借りてでもいいんじゃないのかなと思うくらい大変だと思うんですね。あそこに八雲の町民、たとえば募集かけても入らないような現状だと思うんですね。だからそこにわざわざお招き、選定するという場合、どうかなという声も聞かれているから、そういわれればそうだなというふうに納得せざるを得ないような、大変だと思うんです。あそこの前の雪というか、

氷そのものが落雪するような部分で、除雪の大型の機械を持ってきてやっってるけれども、かなり時間をかけてやっているような状況ですから、やっぱりもう少しないならないなりに若干お金かかるかもわからないけれども、そういう部分も少し可能かどうか検討だけ是可以なのかなと思いますので、ちょっと考えてもらいたいと思います。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） 委員長、学校教育課長。

○委員長（赤井睦美君） 学校教育課長。

○学校教育課長（石坂浩太郎君） 千葉委員おっしゃるとおり、新しい住宅ではなくて冬の大変さは千葉委員も見られていると思うんですけども、中身については改装等をしてそんなに傷んでない。改修しているという状況をご理解いただきたいと思います。今後、ALITの住宅については、なるべく環境の良いところに住むようなことで考えていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○委員長（赤井睦美君） ほかにありませんか。

それでは是非頑張ってください。よろしくお願いたします。ありがとうございました。

### 【学校教育課職員退室】

#### ◎ その他

○委員長（赤井睦美君） その他について、何か皆さんからありませんか。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） はい。

○委員長（赤井睦美君） 事務局係長。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） 事務局から確認ですけれども、令和3年10月をもって当常任委員会の任期が終了することとなります。今期から各常任委員会が任期4年になりましたので、令和元年の12月定例会の際に常任委員会の所管事務調査の報告を中間報告として行ってきております。今回、任期満了に伴いまして、9月の定例会において常任委員会の報告書の提出を予定しております。中間報告をベースに継続して行ってきた常任委員会の活動を踏まえてですね、報告書のほうは作成したいと思いますけれども、中間報告と同じように事務局とですね、正副委員長のほうで協議させていただいて皆さんにお諮りするか、それとも内容について委員会の中で数回程度、報告書の作成を行っていくかをご確認していただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○委員長（赤井睦美君） 報告書についてですけれども、皆さんのご意見をよろしくお願います。

○委員（斎藤 實君） ご意見って報告書作らないとないわけだから。

○委員長（赤井睦美君） だから、何度か集まってみんなで作るか、それとも正副委員長に任せるかという、どちらかの提案でしたけれども。

○委員（斎藤 實君） お任せしてよろしいですよ。今までやってきた経緯。

○委員長（赤井睦美君） せっかくですから皆さんで作りませんか。

○委員（斎藤 實君） まとめてもらって、そして出来上がった時点で皆さんで最終確認をしたほうがいいんじゃないですか。

○委員長（赤井睦美君） そういうことで、原案を作って皆さんに検討していただくということでもよろしいですか。

（「はい」という声あり）

○委員長（赤井睦美君） そのようにさせていただきます。ほかにありませんか。なければ常任委員会はこれで終わります。

（再開）

○委員長（赤井睦美君） すみません。それでは、調査ということで再開させていただきます。

委員会を再開し、今まで話し合った閉会していた部分で話し合っていたことで調査の継続ということで、文厚委員会の中で調査していくということでよろしいですか。

来月の第3とか第4まで待っていると、1回か2回しかできないので、改めて日程は（聞き取り不能）。定期的なのは第3木曜日なんですけれども。

○委員（斎藤 實君） 定期的でいいんじゃないですか。

○委員長（赤井睦美君） じゃあ8月の第3木曜日に調査項目を提出するというでよろしいでしょうか。そういうことで関口さんよろしいですか。

○委員（関口正博君） はい。

○委員長（赤井睦美君） そういうことで調査をします。

○議長（能登谷正人君） 委員長、確認ですけれども、調査することに反対じゃなくて、どこまでの調査。八雲町だけの調査ですか。それとも関口さんが言ったみたいに、他町村までの病院の資料を持っているというから、そっちのほうまでの調査をするということで調査項目、委員会の集めるのはどういう項目で集めるんですか。

○委員長（赤井睦美君） 他町村の調査というのはおかしくて、八雲町内ですけれども。

○委員（黒島竹満君） 結局、継続調査というのはずっとされているわけだから、それは地元の病院のことだから、他町村のところまで調査できるわけじゃないんだから、それは地元だけでしょ。それで。

○議長（能登谷正人君） それであればいいんですけれども。

○委員（黒島竹満君） それが他町村の部分はほかの病院はどうやっているのかという勉強くらいはしたってかまわないでしょ。ただ調査となれば継続調査を引き継いでいくから。

○委員（関口正博君） いろいろな資料というのは公に出ているんです。そこら辺までの範囲であればそれは問題ないと思いますけれども。別に他町村まで踏み混んで、こうしたほうがいいのかは、今の段階でするつもりはないです。そこまでの認識もないですから。そこら辺までお話できるようになるまで、僕としては見識を深めたいということでございますので、本当は個人的にやろうと思ったんです。ただし、これは議会全体として、せめて委員会としてやったほうがいいんじゃないかなということでご相談させていただきました。そしてさっき議長が言ったように、俺が言ったことは立派なことじゃ決してなくて、俺は当たり前のことだと思うのでこの場で言わせていただきました。決して立派なことじゃないです。

○委員（斎藤 實君） 言っていることは間違いじゃないと思う。

○委員（関口正博君） ただ、乱暴に進めるとか、そういうことは一切考えていませんから、そこだけは本当に理解していただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

○委員（千葉 隆君） 委員長。たとえば二次医療圏の中核病院で八雲総合病院がありますよと。それで中核病院があって、その二次医療圏に当然、熊石国保もあるだろうし、今金の病院もあるだ

ろうし、北檜山の国保病院もあるだろうし、長万部の国保病院もあると。そしたら当然、医療連携という部分も総合病院の中では貴重だから、それじゃあ今後、そこそこの町村の二次医療圏に属する病院が、どういうふうな形態をしているかというのも当然、調査していかないと中核病院としてのあり方もないし、だから今たまたま国保病院の基本設計になってるけれども、基本設計よりももう建ってしまっている総合病院でさえ、将来に向けて変えていくところは変えていかないと、医療の地域の中では向かえないわけだから、そういう視点で、ここが良いとか悪いとかということではなくて、全体でどういう方向性で二次医療圏の医療が進んでいくのか、そしてその中で地域医療を守るということで、八雲の総合病院、国保病院の今後のことも含めて調査するという括りで調査してしていく。この機関ね。今のあと2か月か3か月。そういう括りで調査しましょうということ、まずはあとは改選期だから、それ以降また新たに委員会を設けて、何の調査項目をするかは新たに決めるから、2か月か3か月だから、そういう視点でまず2か月、3か月やりましょうということではイメージ的に理解できるんじゃないのかなと思うんですね。そういうことで、どういう状況になるかということだけ。

○委員長（赤井睦美君） 人口もそれぞれ減っていきますから、そういうことも含めて。

○委員（千葉 隆君） 具体的にだからと言ってこの任期の中で、この総合病院、何しているとかさ、最終報告書出すんだから。委員会として。だから間に合わない結論で。ただ提起されているから、今後のあり方についてどうかという部分を全体で調査しましょうということだけで確認するという部分はさ。一回出すわけじゃないですか。いいんじゃないかな、そういうことで。

○委員長（赤井睦美君） そういうことで、第3木曜日。

○議会事務局庶務係長（松田 力君） 次は第3は、8月19日。

○委員長（赤井睦美君） 8月19日木曜日の10時から文厚ですので、よろしく願いいたします。

ほかにありませんか。なければこれで文教厚生常任委員会を終了いたします。ありがとうございました。

[閉会 午前10時59分]